

# 会 議 録

1 会議名

令和元年度 第5回諏訪区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1)協議事項（公開）

① 自主的審議事項

・諏訪区内への移住促進策について

3 開催日時

令和元年9月25日（水） 午後7時から午後7時45分まで

4 開催場所

諏訪地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：石黒太一、内山恵悟、川上奈津子、川上久雄（副会長）、滝澤隆行、  
西嶋明子、星野一巳（会長）、松縄節子、山岸 愛、山岸一之（欠席2人）
- ・ 事務局：中部まちづくりセンター 本間センター長、藤井係長、田中主事

8 発言の内容（要旨）

**【藤井係長】**

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

**【星野会長】**

- ・ 挨拶

- ・会議録の確認：西嶋委員に依頼

次第2 議題「(1) 協議事項」「① 自主的審議事項について」の「諏訪区内への移住促進策について」に入る。事務局に説明を求める。

**【藤井係長】**

- ・資料1、参考資料、進め方等を説明

**【星野会長】**

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

最初に、視察に参加した委員より、視察を通じて学んだことや考えたことなど感想を求める。

今回の視察研修には6名が参加した。移住促進諏訪の会の会長、未楽来すわの代表、事務局も参加した。七尾市は多くの担当者より出席いただき、細かな説明を受けた。それらを踏まえ、出席者より一言ずつ感想を求める。

**【川上副会長】**

勉強になり過ぎたと思っている。諏訪地区では、取組自体始めたばかりで、まだ何も始まってないため、全てが勉強になると思った。

実際に石川県七尾市に出向いた感想としては、山があり海も近く、上越市とあまり変わらない環境であると感じた。逆に田舎に住んでいる立場であっても、七尾市のような環境で生活してみたいと思うような土地であった。

地域おこし協力隊の方は、まだ若い方が色々と活動し、集落の教科書を作成するなど、一生懸命で素晴らしいと感じた。また、コミュニケーションを取らなければ、懸命に動いたとしても地域住民からの協力を得ることができず、なかなか話が進まないと思った。実際に、地域おこし協力隊の方も教科書を作成する際、地域住民からの協力や逆に反発があり大変だったが、一つずつ話をまとめ、本を作り上げたとのことであった。

諏訪区はまだそこまでではないが、まずは移住促進諏訪の会の活動の在り方を地域住民に知ってもらわなければならないと考えている。そこから、もう一度やり直さなければいけないと感じた。まだまだ先が長いと思うが、皆で協力し、地域住民と話をしながら進めていきたいと思った。

どこの地域も人口減少が課題となっており、同じ悩みがあると思う。しかし、他は他、ここはこことして皆で協力していかなければいけないと思った。今後さらに勉強しなければいけないとつくづく感じさせられた。

色々な話は聞いたが、先進地にこれだけの人が移住するという事は、努力があって初めて実現すると痛感した。

#### 【山岸 一之委員】

今回は、前回の長野に続き2回目の視察であった。天候に恵まれずかなりの雨が降っていた。

地域的には諏訪地区と似たような感じで、稲作を中心にした農家が多い印象であった。あまり畑やビニールハウス等は見かけなかった。

移住した人がどのあたりに居住し、活動してるのかは見えなかったが、移住・定住に若い人たちが力を入れており、そこに地域の協議会長や地域住民がタイアップし、ここまで築き上げた感じであった。

近くに工場や大きな商業施設はないが、それでもそこに住むということは何かしら違った意味の魅力があるように感じた。

#### 【松縄委員】

まず、話を聞く時間が足りず、もう少し時間が欲しかったと思った。

地域おこし協力隊の方のような若い方が中心となり一生懸命に活動していることは、凄く羨ましく思った。

また、その地区は、人口を増やすことよりも、居住している件数を増やすことに取り組んでいると話していた。自分たちのまちは自分たちで作るとの言葉が印象的だった。

#### 【川上 奈津子委員】

市、地域おこし協力隊、コミュニティーセンターのセンター長など、多くの人が応対してくれた。

地域おこし協力隊と移住コンシェルジュの2人の若者がとても精力的に活動していた。結局、人と人との繋がりによって移住して来る人が多いようである。地域おこし協力隊の方自身も、住む場所を探していた際に、七尾市の移住コンシェルジュと出会ったため移住したと話していた。

信濃町の視察研修の際も感じたことであるが、やはり、人なのだと思います。人との繋がりですべて移住してくる人が多いと感じた。

#### 【内山 恵悟委員】

集落の教科書作成のための調査で、町内会費等の細かい点は、女子大学生が先頭に立って取りまとめたとの話であった。

特にアパート等に住んでる人は、町内会費等は支払いたくないというか、内容が分からない。例えば、ゴミさえきちんと出せばよいと思っている住人も多いが、町内でどのようなことがあるのかといった色々な細かい点をしっかりと説明し、理解したうえで納得して住んでもらっているということが非常に印象的だった。

#### 【星野会長】

七尾市に、他の市町村と比べ飛び抜けた施策があるという訳ではないが、地域おこし協力隊をうまく活用している印象であった。

地域おこし協力隊には、この地域を元気にしてくださいとのミッションが与えられたということであるが、これはどこの地域でも同様である。その中で「移住・定住の促進」「コミュニティの醸成」を何とかしてほしいとのミッションが与えられたのみであったが、人選がよかったと思う。

また、情報発信の仕方については、テレビでも取上げられたとのことであるが、「集落の教科書」という名称が非常によいと思った。集落の教科書とは何かと疑問を持たせ、興味を沸かせる。タイトルの付け方がユニークであり、人を惹きつける言葉だったのだと思う。単に集落の紹介や平凡な言葉でアピールしたのでは、なかなかアピールできなかつたように思う。集落の教科書というキーワードを発掘した地域おこし協力隊の方の力で、高階地区をアピールできたと思う。

また、地域おこし協力隊の方の配偶者が七尾市出身とのことであり、上越市や他の地域も、奥さんの実家であったり曾祖父の居住地であるなど、何らかの関わりがあるとところに人が集まると思う。先ほど、人と人との繋がりですべて移住してきたとの話もあったが、まさに人との繋がりですべて移住するきっかけになっていると思った。

また、活動の主体である地域おこし協力隊の方は 28 歳と非常に若く、若い人が行動的に活動していることで、周りに若い人が集まってくるのだと思った。

今後は、若い人を引き込んで活動しなければ、上手く行かないと感じた。また、

地域住民の理解のもとに進めていくことが大切だと感じた。

今ほどの感想等を聞いて、参加しなかった委員より感想等の発言を求める。

#### 【山岸 愛委員】

参加した委員の話聞いて、若い人がキーワードになると思った。

地域おこし協力隊については、新潟県内でも色々な地域で活動している。何かしらのきっかけ的な要素も起爆剤になると思う。参加者の感想を聞いていて、外からの糸口のようなものがあれば、意見が集まりやすいのではないかと感じた。

七尾市のレベルになるのは、すぐには無理だと思うが、諏訪区にも、何かしら動いて行けるような未来があるとよいと感じた。

#### 【西嶋委員】

集落の教科書や配布資料を見て面白そうな印象を受けた。

地域おこし協力隊や地域住民が協力して行っていること自体が、非常に魅力のある活動だと感じた。今ほど山岸 愛委員より、外部からのきっかけの話が出たが、諏訪区にも新しい住民が入ってきた。そのような若い移住者を地域協議会に誘えば、地域のことにしても色々な相談やアイデアなどがもらえると、また違ったよい方向に進むのではないかと考えている。

#### 【滝澤委員】

資料や参加者の話を聞き、やはり若者がリーダーとして活動していることが一番の強みであり、パワーの源になっていることがよく分かった。長年地域で生活してきた人達が色々な意見を出し合い活動することは、難しいところもあり動きにくいところもある。やはり、若者が理解してくれなければ続かないため、諏訪区の課題としては若者にうまく繋げて、動いてくれるようにならなければ、その先はないように感じている。

自分も移住してきた立場であるため、その立場から何とか諏訪区を盛り上げられるよう協力していきたいと思っている。

#### 【石黒委員】

参加者の話を聞いた中で、地域的には諏訪区と似ており米作りを中心とした農家が多いとの話があった。生活をしていくための賃金を得る環境について、収入源に繋がるようなところが豊富な印象であったが、実際にはどうなのか教えてほしい。

### 【星野委員】

収入源等については、時間がなく細かいところまでは聞けなかった。

ただ、移住者の SNS 等、インターネットで調べると何件か紹介されている。移住により地域の店舗数も増加したといったことが紹介されている。

今ほど出た感想をまとめると、「若物の力」「地域の力」「外部の力」が非常に大切との意見が多かった。

本日出た意見等をまとめ、協議会委員で共有しながら進めていきたいと思う。本日共有した視察結果を踏まえ、今後の当協議会の取組について意見を求める。

(発言なし)

例えば、それぞれの市町村は様々な施策を行っている。

上越市に対して、こういう施策をもっと進めてほしいといった要望を出す、または、他の市で行っている事業等について、上越市ではどうなっているのか聞くことなどでもよい。自分としては、市から断片的な情報は得ているが、全体的なことはわかっていないため、それらの説明を市に依頼することもよいと思う。

### 【川上副会長】

以前、市の移住・定住コンシェルジュに正副会長と移住促進諏訪の会会長の3人で会ったが、コンシェルジュがどういった仕事をしているのかまだ掴めていない。一度、移住促進諏訪の会のような活動をしている人たちを集め、どういった活動をしているのかを見せて聞かせて欲しいと思っている。我々としても何か意見ができると思っており、そのような場を作って欲しいと思う。

また、市に要望等もできればしていきたいと思っており、地域協議会委員として、各自考えてほしいと思っている。皆で協力しなければなかなか話は進まず、移住促進の会を立ち上げたのみで終わってしまうような気がするため、広く認知してもらえるように、何かしらの取組をしていきたいと考えている。

### 【星野会長】

4月に、上越市ふるさと暮らし支援センターに移住・定住コンシェルジュという制度ができ、活動している。我々としても、どういった協力ができるかという考えで、何か話を聞かせてもらえればと思っている。

意見を求める。

(発言なし)

では、今後、コンシェルジュの活動に関して、市に何か要望していくことができるのかについても検討していきたいと思うが、よいか。

(よしの声)

**【西嶋委員】**

インフルエンサーとして、諏訪区に移住してきた人も広報上越に掲載されていたと思うが、その人の役割や、どういった活動をしているのかも教えて欲しいと思う。

**【星野会長】**

広報上越8月1日号には、移住インフルエンサーとして5人が市から委嘱されたと記載されていた。諏訪区への移住者は、移住歴が1年ということで紹介されていたが、具体的にはどういった立場なのか、説明文だけでは分かりづらいと思う。それらも含めて教えて欲しいと思う。これらの意見を参考に、市に依頼していきたいと思う。

次に、実施団体として移住促進諏訪の会があるが、今後も地域協議会は、移住促進諏訪の会と歩調を合わせながら進めていくこととしてよいか。

(よしの声)

今ほど発言のあった今後の取組に係る発言について、事務局より整理を求める。

**【藤井係長】**

これまでの話をまとめる。

市の取組については、施策を理解する中でどのような関わり方ができるかを考えていってはどうかとの意見であったため、自治・地域振興課と調整したいと思う。日程等は何とも言えないが、話を聞く機会を設けてみてはどうかと考えている。

その中で、地域おこし協力隊について、仕組として違うねらいのものではあるが、併せて説明を聞けるよう調整したい。

次に、地域の理解を得ながら活動するとの意見もあった。地域協議会で行うのか、移住促進諏訪の会で行うのかという部分もあるが、地域の理解をより醸成していく必要があるように感じた。

今後については、自治・地域振興課と調整するかたちで進めたいと思っている。

**【星野会長】**

加えて、上越市にも地域おこし協力隊の方が何人かいるが、どちらかと言えば中山間地域を主体に活動している。できることであれば、中山間地域、並びに、諏訪地区のような地域も掛け持ちで活動してもらえれば心強いと思う。これを今後、市に要望していきたいと思う。

やはり、市と地域が一緒になって行わなければ上手くはいかない。どちらかが一生懸命になっても、なかなか上手くいくものではないと思う。地域として何かしらのサポートが出来れば、それなりの進展はあると思うため、市と地域が手を取り合って進んでいきたいと思う。

上越市にも地域おこし協力隊の制度はあるが、諏訪地区は対象とならないように感じている。そのことも含めて、自治・地域振興課と調整して欲しい。

他に意見等あるか。

(発言なし)

以上で、次第2 議題「(1) 協議事項」「① 自主的審議事項について」の「諏訪区内への移住促進策について」を終了する。

最後に次第3「その他」の「(1) 次回の開催日の確認」について、事務局に説明を求める。

#### 【藤井係長】

##### — 日程調整 —

- ・ 次回の協議会：10月28日（月）午後7時から 諏訪地区公民館 集会室
- ・ 内容：(報告事項) 公の施設の使用料改定について  
(自主的審議事項) 諏訪区内への移住促進策について
- ・ 会議の閉会を宣言

#### 9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail:chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

#### 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。